

脂肪滴蛍光染色剤 ShoyakuGreen



特長

- 極大吸収波長 404 nm、極大蛍光波長 473 nm (*n*-ヘキサン中)
- 脂肪滴への高い特異性
- 低い細胞毒性

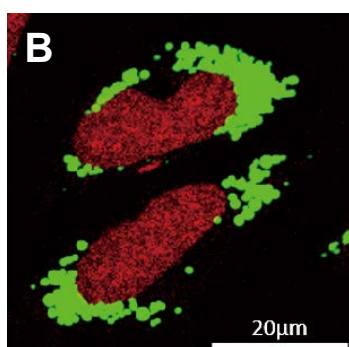
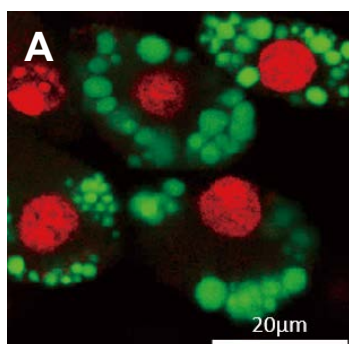
ShoyakuGreen (= TFMAQ-8Ph)

2mg 18,000円

[T3935]

引用文献 Y. Fuchi, K. Hamada, S. Karasawa, *et al.*, *Sci. Rep.* **2019**, *9*, 17723.
<https://doi.org/10.1038/s41598-019-53882-z>

使用例: 脂肪滴染色



(Leica TCS SP5で撮影)

<細胞の用意>

- A) 3T3-L1 細胞の培地に分化用の試薬を添加し、10 日間培養
B) HeLa 細胞の培地にオレイン酸を添加し、48 時間培養

<ShoyakuGreen の調製>

ShoyakuGreen を DMSO で溶解して 1 mM ShoyakuGreen 溶液を調製
1 mM ShoyakuGreen 溶液を培地で希釈して 1 µM ShoyakuGreen 含有培地を調製

<脂肪滴染色手順>

1. 1 µM ShoyakuGreen (緑) を含む培地に置換して 37°C で 30 分間培養
2. 培地を取り除き、PBS(-) で 3 回洗浄
3. PBS(-) を取り除き、4% PFA を添加し室温で 10 分間処理
4. 4% PFA を取り除き、PBS(-) で 3 回洗浄
5. PBS(-) を取り除き、0.1% Triton X-100 を添加し室温で 15 分間処理
6. 0.1% Triton X-100 を取り除き、PBS(-) で 3 回洗浄
7. PBS(-) を取り除き、100 µg/mL RNase を添加し 37°C で 20 分間反応
8. 100 µg/mL RNase を取り除き、PBS(-) で 3 回洗浄
9. PBS(-) を取り除き、5 µg/mL PI (赤) を添加し 15 分間核染色
10. 5 µg/mL PI を取り除き、PBS(-) で 3 回洗浄
11. 封入して蛍光顕微鏡で撮影

本製品は、唐澤悟 教授、瀧靖史 博士、濱田浩一 講師によって開発された技術をもとに製品化されました。

東京化成工業株式会社

試薬製品について

■ 本社営業部 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 16-12 T-PLUS 日本橋小伝馬町8階
Tel: 03-3668-0489 Fax: 03-3668-0520 E-mail: Sales-JP@TCIchemicals.com

■ 大阪営業部 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜 1-1-21 第2中井ビル1階
Tel: 06-6228-1155 Fax: 06-6228-1158 E-mail: osaka-s@TCIchemicals.com

スケールアップ、受託サービス (合成・開発・製造) について

□ 化成品営業部 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町 16-12 T-PLUS 日本橋小伝馬町8階
Tel: 03-5651-5171 Fax: 03-5640-8021 E-mail: finechemicals@TCIchemicals.com

弊社製品取扱店

本誌掲載の化学品は試験・研究用のみ使用するものです。化学知識のある専門家以外の方のご使用はお避けください。品目や製品情報等、掲載内容の変更を予告なく行う場合があります。内容の一部または全部の無断転載・複製はご遠慮ください。